

## 平成24年「市長と農業委員が語る会」開催される

二月二十一日(火)、今年で十二回目となる『市長と農業委員が語る会』が、五所川原市民学習情報センターにおいて開催されました。

平山誠敏市長、島谷経済部長を招き、太田昭市農業委員会会長をはじめ、委員二十七名が出席しました。

この語る会は農業委員が、地域農業の現状、行政への要望を述べ、市長と一緒に、五所川原市農業の活性化へ向けて討論する事を目的として農業委員会が開催しているものです。

語る会では、事前に農業委員から募った意見を取りまとめた要望書を、太田会長から平山市長へ提出しました。要望内容は以下のとおりです。

### 【要望内容】

- 一、環太平洋連携協定(TPP)に関する事項について
- 一、農地・水・環境保全に関して
- 一、農業関係機関の情報一元化と連携強化の必要性について
- 一、地場農産物の利用促進について
- 一、農業経営複合化の推進と高収益作の取り組みについて
- 一、青森県立五所川原農林高等学校の施設の有効利用と公開講座について

これらの要望に対して平山市長、島谷経済部長が答弁するという形で会はずすめられ、熱い議論が交わされました。



## 市議会経済文教常任委員・農業委員・認定農業者等の意見交換会



TPPについて意見を述べる、  
ごしよつがる農協 白戸組合長



集落型営農の必要性について講演する大柳氏

市認定農業者協会(会長=田中節雄)と市農業委員会(会長=太田昭市)の共催による『市議会経済文教常任委員・農業委員・農業者・認定農業者等の意見交換会』が、2月13日(月)にホテルサンルート五所川原において開催され、関係機関を含め約50名が参加しました。

青森県農業会議事務局長である大柳建秀氏を講師に招き、『農業情勢を踏まえた集落型営農展開の必要性』と題して、基調講演が行われました。

その後の意見交換会では、農業経営への思い、農業の可能性などについて様々な意見が飛び交いました。

市議会経済文教常任委員、農業委員、地域農業の担い手である認定農業者及び関係機関の職員が一堂に介し、それぞれの立場からの見解、支援活動のあり方について討論するなど、貴重な時間となりました。

参加者からは「こういう場を設けていただいて、ありがたい。忌憚のない意見を述べることができ、先行きへの不安などぶつけることができる。即、解決まではいかなくとも、方向性を見出すことができると感じています。」との声がかげられました。

# 農家の皆様へ

## 平成24年度「農作業労働賃金等標準額」のお知らせ

平成24年度農作業労働賃金・機械賃借料を下記のとおり設定しました。農業経営の参考としてお役立てください。

### ◎農作業労働賃金(平成24年4月から適用)

作業別		金額(円)	備考
農作業	水田植	5,500	
	稲刈	5,500	
	乾燥運搬	5,500	
	脱穀調製	5,500	
	薬剤散布	5,500	
	りんご剪定	7,000~8,000	
	りんご受粉	5,200	
	りんご摘果	5,200	
	りんご袋掛	5,200	
	りんご収穫	5,200	
日雇賃金	選果荷造	5,200	1日8時間労働 賄い等は無し男女同額
	薬剤散布	5,200	
	葉タバコ調製	5,200	
	一般農作業	5,200	
	水田一般作業	5,500	
	畑一般作業	5,200	
	大型機械オペレーター	7,000~8,000	

### ◎農作用機械賃借料(平成24年4月から適用)

※金額は消費税込み

作業別	金額(円)	備考	
トラクター	畑耕起	4,800(1回掛)	2回掛は双方相談
	田耕起	4,800(1回掛)	基盤整備区域外は双方相談
	田荒かき	4,000(2回掛)	
	田代かき	4,000(2回掛)	
	荒かき~代かき	8,000	
	耕起~代かき	12,500	
	バイスター	8,500	
	ハーベスタ	8,500	
	コンバイン	13,000	10a当たり オペレーター付
	バラスト	14,000	基盤整備区域外は双方相談
コンバイン	麦刈り	8,000	
	結束刈り	8,000	
	牧草刈り取り	3,000(モア一)	
	プラウ	3,000	
	サブソイラー	1,000(間隔8m)	
	溝掘機	2,500(100m)	
	レーザーレベラー	14,000~20,000	高低差により双方相談
	稲わら梱包	300(1梱包)	
	牧草梱包	300(1梱包)	
	田植機	5,500	10a当たり オペレーター付
あぜぬり機	25	1m当たり(片側)	

## 五所川原市農業委員会

## 3月11日(日)は五所川原市農業委員会委員一般選挙です

任期満了に伴う五所川原市農業委員会委員一般選挙は、3月4日(日)に告示され、3月11日(日)に投票が予定されています。

農業委員会委員は、農地の転用・売買・貸借・あっせんによる農地の流動化や認定農業者の拡大に努めています。また、遊休農地の有効活用、地元農家への助言・指導を行うとともに、農業者の代表として地域農業発展のために活動しています。

詳細は五所川原市選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。

### 【問い合わせ先】

五所川原市選挙管理委員会事務局  
Tel 35-2111 内線 2752



## 農業委員会活動の点検・評価(案) 活動計画(案)への意見募集

農林水産省経営局長通知に基づいた、担い手の育成、担い手への農地の利用集積、耕作放棄地の解消、適正な農地管理等を旨とした農業委員活動の点検・評価(案)、平成24年度の活動計画(案)について、皆さんからの意見を募集します。

◇募集期間 平成24年3月1日(木)~3月30日(金)

◇対象 市内農業関係者等

◇閲覧場所 農業委員会事務局(市庁舎北棟)3階、農業委員会金木支所(金木総合支所庁舎)、農業委員会市浦支所(市浦総合支所庁舎)

◇意見の提出方法 閲覧場所に備え付けの用紙に記入の上、郵送または担当者に提出してください。

◇意見の取り扱い 寄せられた意見等については、農業委員会の考え方、回答を付し、農業委員会だよりで公表します。

※そのほか、ご不明な点等ございましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

市農業委員会 Tel 35-2111 内線 2771

## 五所川原市農業委員会 平成24年第1回総会

市農業委員会の平成24年第1回総会が1月24日(火)、五所川原市民学習情報センターで開催されました。

総会では、「平成23年農業委員会事業経過報告」に続いて、松本和春農地部会長並びに佐野一農業振興部会長が、平成23年中に開催した各部会の「業務報告」を行いました。次に、議案第1号「平成24年農業委員会事業計画(案)について」同2号「農業委員会委員選挙人名簿登録申請書の審査について(平成24年1月1日現在)」が提案審議され、原案どおり可決し閉会しました。



### 【農振部会業務報告内容要約】

- 1 農業振興部会について
  - ① 12回開催 審議内容 議案2件 協議案6件 報告10件
- 2 認定農業者数について
  - 平成23年12月31日現在で527名(対前年比22名減)
- 3 農業者年金について
  - ① 経営移譲年金申請 受付件数1件、裁定件数1件、現在受給者数832名
  - ② 高齢年金申請 受付件数6件、裁定件数5件、現在受給者数209名
  - ③ 農業者年金資格取得届等件数 加入2件、資格喪失2件
  - ④ 新制度被保険者数46名(通常加入者20名、政策支援加入者26名)

### 【農地部会業務報告内容要約】

- 1 農地部会について 12回開催
- 2 農地権利移動に関する事項
  - ① 農地法第3条許可 件数134件(田92件 畑42件) 面積772,084㎡(田665,525㎡ 畑106,559㎡)
  - ② 利用集積公告 件数534件(田520件 畑14件) 面積4,142,244㎡(田4,071,303㎡ 畑70,941㎡)
  - ③ 農地移動適正化あっせん事業による権利移動 件数79件(うち農地保有合理化事業48件) 面積544,904㎡(うち農地保有合理化事業300,244㎡)
- 3 競売・解約に関する事項
  - ① 競売適格証明書交付 件数9件 面積83,361㎡
  - ② 競売農地法第3条許可 件数5件
  - ③ 農地法第18条合意解約受理 件数77件 面積583,261㎡
- 4 農地の転用に関する事項
  - ① 農地法第4条許可 件数6件 面積9,013㎡
  - ② 農地法第5条許可 件数17件 面積13,271㎡

## 家族経営協定調印式



一月三十日(月)、庁舎北棟五階第二会議室において、十一組の家族が家族経営協定を締結しました。調印式には太田昭市農業委員会会長、内山巖西北地域県民局農業普及振興室長が立会いました。協定締結者を代表して、小林史昭さんが「農業を取り巻く情勢は厳しいですが、こんな時こそ家族と協力して頑張っていきたいと思います。」と今後の抱負を述べました。

## 「けっぱれ! 担い手」

今回は市内相内にお住まいの佐藤敬道(たかみち)さんをご紹介します。敬道さんは、高校卒業後就職の為に上京し、十年後地元相内に戻りました。今年で就農七年目を迎えるそうです。

両親と敬道さんの三人で、水稲を中心にハウスでトマトの栽培もしているそうです。ハウスは十一棟あり、冬はにんにくを栽培するなどして、ハウスの有効活用を積極的に取り組んでいます。トマトの栽培は、敬道さんが主に作業を行っています。毎年、違う品種を栽培し、相内の土地に合ったトマトを模索中だと言います。就農したことにより、今まではない責任感、ちょっとした失敗や天候不順が作物に影響し、生活に直結するという現実を知ったといいます。「市浦地区にも、就農しハウス栽培に取り組みたいという若者は結構います。ただ、それには資金や知識が必要となってくるわけですから、行政側が何かしら支援してくれればありがたいですね。若者が増えれば、互いに助け合い、時には競い合って活力ある農業へと繋がっていくと思うんですが。」と意欲的に話してくれました。

しかし、今季の豪雪によりハウス一棟が倒壊したそうです。「常に、除雪はしていたのですが、あまりの降雪においつかず、ハウスが倒壊していくのを目の当たりにしました。損害という面でもダメージを受けましたが、何より精神的なダメージが大きかったですね。けど、こうやってハウスを二棟増設する予定です。」と頼もしい言葉を聞かせてくれました。



## 各種申請書の受付締め切り日について

当委員会では各種申請書の受付締め切り日を次のように設定しています。

### ◎農地法第4条申請書、第5条申請書

- 農地を農地以外のものとして使用する場合  
例：資材置場・駐車場等

毎月末日締め切り（末日が市役所閉庁日の場合は翌日）

### ◎農地法第3条申請書、農用地利用集積計画書の同意、競売・公売買受適格証明願

- 農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合

毎月5日締め切り（5日が市役所閉庁日の場合は翌日）

### ◎あっせん申出書

- あっせんにより農地を貸借・売買する場合

毎月15日締め切り（15日が市役所閉庁日の場合は翌日）

※許可のポイント、申請から許可までの流れ、必要書類一覧等については、農業委員会に備え付けています。

### 【問い合わせ先】

市農業委員会 農地係 TEL 35-2111 内線2776

## 総会・部会の開催予定

- ◎平成24年3月農地部会・農業振興部会  
【3月22日(木)】場所：五所川原市民学習情報センター
  - ◎平成24年 第2回総会  
【3月28日(水)】場所：五所川原市民学習情報センター
  - ◎平成24年4月農地部会・農業振興部会  
【4月20日(金)】場所：五所川原市民学習情報センター
- ※法令により総会・部会等の会議は公開されております。また、会議録は農業委員会事務局にて閲覧できます。

## 認定農業者の相談

農業委員会では、認定農業者を希望する農業者の方々に対し、「農業経営改善計画認定申請書」の記入方法等について、下表のとおり相談に応じます。ただし、金木地区、市浦地区の方は、各支所で随時受け付けております。

なお、下表の相談日および各支所での相談については、**事前の予約が必要**となりますので、希望する相談日の前日までに農業委員会本・支所にお申し込みください。

※生産調整の達成、未達成は問いません。

月日	場所	時間
3月1日(木)	市役所北棟 農業委員会	9:00~12:00
3月8日(木)	〃	〃
3月15日(木)	〃	〃
3月22日(木)	〃	〃
3月29日(木)	〃	〃
4月5日(木)	〃	〃
4月12日(木)	〃	〃
4月19日(木)	〃	〃
4月26日(木)	〃	〃

## 農地情報 平成24年3月現在

下記の農地について、受け手を捜しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、事務局農地係へご連絡ください。

受付番号	区分	農地所在	地目	ほ場整備	面積(a)	利用状況	10a当り希望価格
35	売渡	持子沢字三原	田	済	139.5	休耕地	55万円(応相談)
		高野字北原			4.0		
		高野字柳田			53.1		
		前田野目字長峰			18.3		
52	貸付	羽野木沢字隈無	畑		65.8	原野化	標準
61	売渡	原子字紅葉	畑		19.4	休耕地	15万円(応相談)
62	売渡	金木町芦野	畑		10.0	山林化	50万円(応相談)
69	貸付 売渡	毘沙門字上熊石	畑		27.9	休耕地	交渉次第
76	売渡	金木町川倉宇田野	畑		11.3	休耕地	30万円
79	貸付	金木町芦野	畑		19.8	休耕地	1万円
80	貸付	梅田字福浦	畑		30.1	りんご	1.2万円
86	貸付	梅田字福浦	畑		116.0	休耕地	交渉次第
87	交換	藻川字間手川	田	済	138.5	水稲	畑との交換希望
89	貸付	飯詰字狐野	畑		24.9	休耕地	標準
		飯詰字桜田	田	未	31.3		標準
91	売渡 貸付	磯松山の井	田	未	41.5	休耕地	応相談
		磯松磯部	田	未	3.1	休耕地	
		脇元磯辺	畑		20.6	休耕地	
94	売渡	金木町嘉瀬秋元	畑		3.5	休耕地	応相談
96	貸付	漆川字清水流	田	未	60.8	水稲	米2俵の価格
97	売渡	金木町芦野	田	未	40.8	休耕地	交渉次第
98	売渡	下岩崎字尾花原	田	未	22.05	麦	20万円
		下岩崎字駒返	田	未	19.13	麦	20万円
101	貸付	金木町嘉瀬上端山崎	田	未	30.99	水稲	全部で米4俵
105	売渡	長富字鎧石	田	未	65.0	水稲	交渉次第
107	貸付	小曲字沼田	畑		8.5	休耕地	無償貸与
108	売渡 貸付	神山字山越	畑		63.2	りんご	売渡20~25万
		神山字山越	田	未	63.0	休耕地	貸付交渉次第
110	売渡	漆川字浅井	畑		11.22	ねぎ	総額150万円
115	売渡	毘沙門字中熊石	田		59.93	水稲	10aあたり30万円
		毘沙門字中熊石	畑		6.22	休耕地	※応相談
117	売渡	金木町嘉瀬駒留	田	有	1.70	水稲	交渉次第
118	売渡	金木町嘉瀬駒留	田	有	3.92	水稲	交渉次第

※農地を売りたい貸したい方、買いたい借りたい方は、農業委員会にご相談ください。

農業の経営とくらしに  
役立つ情報をお届けする

全国農業  
と新聞

- 毎週金曜日発行
- B3版8~10頁建
- 購読料：月600円〔送料、税込み〕

◇購読のお申し込みは、お近くの農業委員または市農業委員会事務局までお願いします

### 編集後記

『絆』という言葉、震災後よく耳にする。震災によって人と人との繋がりや、相手を思う心の大切さを国民が感じているという。

恩師の言葉を思い出す。「硬いものと、硬いものがぶつければ、両方が壊れるだろう。しかし、一方が豆腐であれば、両方が壊れることはない。時には、豆腐になることも大切である。」

TPPが及ぼす農業への影響を考えると、参加は反対である。しかし、着実に参加へ向けて準備が進められている。歩み寄る事の大切さを知り、マイナスをプラスに転換し、様々な場面を乗り越えてきた日本の農業。その礎となる強さ、フロンティア精神を農業者は持っている。そして今日の、日本の農業がある。同盟国である日本とアメリカ。そこに『絆』があると信じたい。